平成27年度 独立行政法人航海訓練所調達等合理化計画 実績評価

1. 計画における重点的に取り組む分野についての評価

(1) 競争性のない随意契約に関する事項

(計画)

競争性のない随意契約に関する事項については、平成27年度において、新たに①の取組を実施することで、適正な調達を目指す。

(評価指標)

当該取組の結果、低下すると見込まれる競争性のない随意契約件数(緊急を要する場合で競争に付すことができない場合を除く)

(取組)

- ① 公募案件として実施する。

(実績及び評価)

当初予定していた案件が契約期間短縮により少額随契に移行したため、該当案件無し
・練習船向けFAXニュース

自己評価	—
------	---

自己評価基準表記 ○: 十分できている △: 一部できている ×: できていない —: 該当しない

(委員会における意見等)

【委員】前回の(航海訓練所)契約監視委員会で指摘した「FAXニュース」が年間契約からスポット契約となって改善されていたのは良かった。

(2) 船舶用部品の購入等に関する調達

(計画)

船舶用部品の購入等に関する調達については、過去、改善策を講じているにもかかわらず、同一事業者による一者応札が継続し、改善が見込めない案件は、平成27年度においては、新たに①及び②の取組を実施する。

(評価指標)

当該取組の結果、低下すると見込まれる競争契約に占める一者応札割合

(取組)

- ① 透明性を確保するため公募案件として実施する。
- ② 公募を実施した結果、応募がない場合は、随意契約による価格交渉により、経費の節減を目指す。

(実績及び評価)

- ① 公募案件とした案件 2件
- ② 価格交渉により、経費節減とした案件 2件

案 件 名	予定価格	契約金額	削減率 (%)
発電機原動機エアクーラ他5点の購入	1,927,983	1,735,185	90.0%
気象情報提供業務の年間契約 4月～3月	3,499,200	3,460,320	98.9%

(参考)競争契約に占める一者応札割合

	平成26年度	平成27年度
① 競争性のある契約	120	88
② (うち一者応札)	41	28
一者応札割合	34.2%	31.8%

自己評価	△
------	---

自己評価基準表記
○:十分できている
△:一部できている
×:できていない
-:該当しない

(委員会における意見等)

【委員】船舶用部品で一者応札が出てくるのは、致し方無い所がどうしてもある。しかし、公募案件とすることにより業者に対し牽制を掛け続けることは有効であると思われる。ただ、金額面ばかりを気にし続け部品の類似品にまで手を出し始めると品質の問題も出てくるので十分注意して欲しい。

【委員】船舶の場合は一者応札が出てくるのは、やむを得ない状況かと思う。船の安全を確保しなければいけない面もありますので、その辺全体を加味すると、あまり一者応札はシビアにこだわらない方が良くかと思われる。

【委員】『気象情報の提供業務』については、前回(航海訓練所契約監視委員会)も指摘したが、だれもがそういう情報を出せ、ネットで見られる時代になってきているので、これも一者応札で受けてきているというのは見直す時期では。

【事務局】「公募」においては、価格交渉で経費節減と言っても、その差額が交渉した結果なのかどうか検証するものが無いので、なかなか評価が難しいところがある。

【委員】今回公募とした案件は2件という事だが、ずっと一者応札が続いている案件も他にはあるかと思うが、その他は公募案件にすら出来なかったと言うことか。

【事務局】公募を行うには時間が掛かり、公募にそぐわないケースがあった。

【委員】今回出来なかったのは時間的なこともあったのか。

【事務局】制度的には公募の方が入札より時間がかかる。公募案件の手続には早くても1ヶ月以上時間を要する。

【委員】時間的に余裕があるものは公募に移行していくと言うことか。

【事務局】そのとおりである。

2. 調達に関するガバナンスの徹底についての評価

(1) 随意契約に関する内部統制の確立

(計画)

新たに随意契約を締結することとなる案件については、契約審査委員会(委員長は総務担当理事)に報告し、会計規程における「随意契約によることができる事由」との整合性や、より競争性のある調達手続の実施の可否の観点から点検を受けることとする。

ただし、会計規程第39条第1項第2号(緊急を要する場合で競争に付すことができない場合)等止むを得ないと認められる場合は、事後的に報告を行うこととする

(評価指標)

契約審査委員会による点検件数

(実績及び評価)

平成27年度点検件数	0件
------------	----

自己評価	—
------	---

自己評価基準表記
○: 十分できている
△: 一部できている
×: できていない
—: 該当しない

(2) 不祥事の発生の未然防止・再発防止のための取組

- ① 調達業務を新たに担当することとなった職員には、会計課において「公共調達に関する基礎知識」及び「コンプライアンス(特に調達業務関連)」についての研修を実施する。

(実績及び評価)

8月に調度係2名に課長補佐が実施した。

自己評価	○
------	---

- ② OJTにおいて、相互牽制機能の強化を図る。

(実績及び評価)

本部においては管財係、調度係が双方の案件を審査することによって相互牽制を高めた。

自己評価	○
------	---

- ③ 調達関係規程類を紙ファイルとして、調達を担当している職員に所持させ、業務の正確性を高める。

(実績及び評価)

各自で所持し業務を行った。

自己評価	○
------	---

- ④ 予定価格調書は金庫に保管する。

(実績及び評価)

施錠できる金庫において保管した。

自己評価	○
------	---

自己評価基準表記
○:十分できている
△:一部できている
×:できていない
-:該当しない

- ⑤ 調達要求書、仕様書等は、机の中に保管するなど調達情報の管理を強化する。

(実績及び評価)

机の中に保管し施錠するなど管理を強化した。

自己評価	○
------	---

- ⑥ 調達情報の拡散を防止するため、執務室への部外者の出入を制限する貼り紙を掲示する。

(実績及び評価)

執務室入口に出入り制限張り紙を掲示した。

自己評価	○
------	---

- ⑦ 不祥事発生情報などが掲載されている「会計検査情報」等の情報を職員で共有し、また、保管することで研修などに活用する。

(実績及び評価)

「会計検査情報」を課内回覧し情報を共有、バックナンバーを保管した。

自己評価	○
------	---

(委員会における意見等)

【委員】「○」「×」の評価が付けやすいが、契約事務担当者にとって基本的な事では。これで「○」が付くのなら評価としては何を持って重要案件にすべきか分かった。実施しているのは基本的な事ですので「○」で良いかと思われる。

【事務局】(航海訓練所)平成27年度は初年度で手探り状態だったため、基本的な事を評価項目に上げたが、平成28年度は見直す予定。